

Ⅱ. 栄養成分等の表示方法についての意向調査及び実態調査

1. 量販店・生産団体等の意向調査及び実態調査

(1) 産地

1) 調査方法と調査対象者

全国の農業協同組合を調査対象にして、調査票を郵送し記入後に返信封筒により回収する方法により実施し、189農協から回答を得て、これを集計対象数とした。

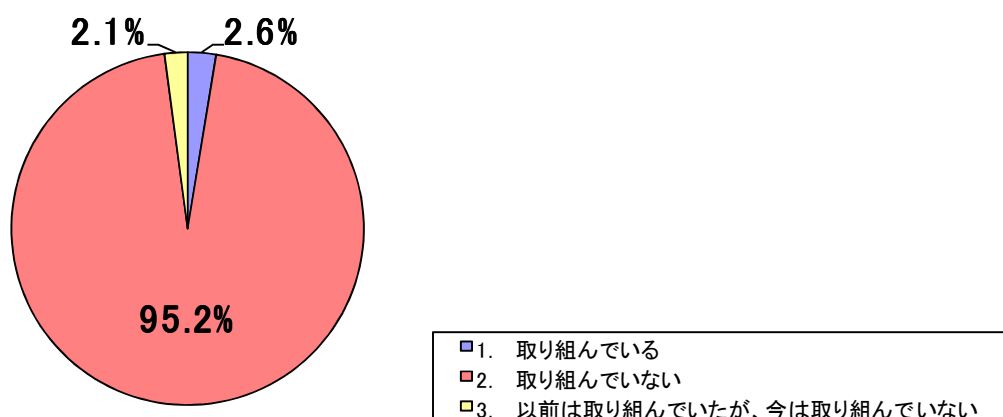
2) 調査結果

①栄養成分情報提供の実施状況と実施しての手応え（問1、問2）

現在、「野菜・果実の栄養成分の情報提供」の取組み実施についての調査結果は、「取り組んでいない」が95.2%と圧倒的に多く、「取り組んでいる」は僅か2.6%（5農協）にすぎず、現段階での取組はきわめて少ない。（問1）

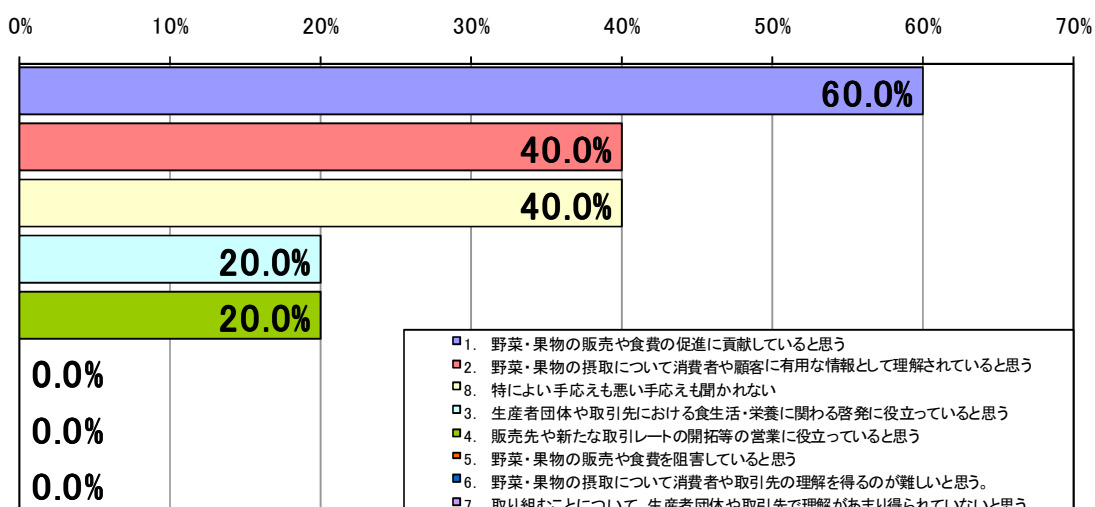
そこで、「取り組んでいる」と回答した5農協に対して、取り組まれての手応えについては（複数回答）、「野菜・果実の販売や消費の促進に貢献していると思う」は3農協（60.0%）、「生産者団体や取引先における食生活・栄養に関わる啓発に役だっていると思う」は2農協（40.0%）であったが、一方で「特によい手応えも悪い手応えも聞かれない」との回答も2農協（40.0%）みられた。（問2）

問1 現時点の「野菜・果物の栄養成分の情報提供」の取組み・実施状況（N=189）



以下の設問は問1で「取り組んでいる」と回答された方に伺っています。

問2 取組み時の手ごたえについて (N=5)



②取り組んでいる具体的な取組内容 (問3)

取り組んでいる5農協の取扱品目と特徴ある栄養成分は、A農協では、ゆでぼし大根はカルシウムと食物繊維、B農協では、トマトときゅうり、C農協では、メロンはアスコロピン酸とβカロテン、D農協では、花菜はカルシウムとカロテン、E農協では、アスパラガスはアスパラギン酸、ブロッコリーはビタミンC、水菜は食物繊維である。

次に取組の提案先については、産地側からが4農協、その他の卸売市場からが2農協である。さらに栄養成分の情報提供の取組内容としては、ラベル(シール)4農協、告知販促物(POP等)は2農協である。

問3 回答結果まとめ (順不同)

取組中の野菜・果物の品目、品種、特徴ある栄養成分。				提案先と取組み内容。		特徴ある栄養成分		
No	品目	品種	特徴ある栄養成分	取組み内容	提案先	分析機関	分析期間	回数
1	ゆでぼし大根	大栄大倉	カルシウム 食物繊維	ラベル(シール)	産地から	長崎県食品衛生協会	4月~7月	1回
2	トマト	サカタ麗容		ラベル(シール)	その他:(市場から)			
2	キュウリ	ときわ節成		ラベル(シール)	その他:(市場から)			
3	メロン	プリンス	アスコロピン酸 β-カロテン	告知販促物	産地から			
4	花菜		カルシウム (100gあたり) カロチン他	ラベル(シール)	産地から			
5	アスパラガス		アスパラギン含有	告知販促物	産地から			
5	ブロッコリー	ピクセル、ハイツ、グラドーム	ビタミンC	告知販促物	産地から			
5	水菜	京しぐれ 京みぞれ	食物繊維多い	告知販促物	産地から			
6			生活習慣病の予防 効果、血圧降下			熊本県立大学	4月~5月	3回

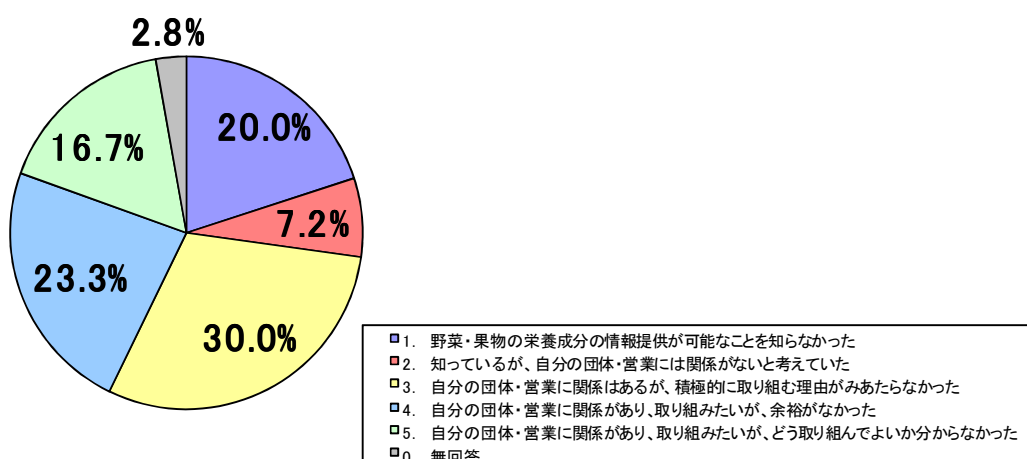
※品目回答者5名。2品目以上を挙げた回答者2名。

③取り組んでいない農協の情報提供についての考え方（問4）

先の「野菜・果実の栄養成分の情報提供」の取組について「取り組んでいない」と回答した農協に対して、「野菜・果実の栄養成分の情報提供」の取組について、これまでの考え方を調査した結果は、「自分の団体・営業に関係はあるが、積極的に取り組む理由がみあたらなかった」と消極的な考えの農協が30.0%みられるが、「自分の団体・営業に関係があり、取り組みたいが、余裕がなかった」（23.3%）と「自分の団体・営業に関係があり、取り組みたいが、どう取り組んだらよいか分からなかった」（16.7%）と情報提供への取り組みに理解している農協が40.0%みられることは、今後の取組を推進していく上で注目される。また、「野菜・果実の栄養成分の情報提供を可能なことを知らなかった」も20.0%みられ、情報提供に伴う取り組み方法などの普及啓蒙についても必要であることを示している。

以下の設問は問1で「取り組んでいない」と回答された方に伺っています。

問4 「野菜・果物の栄養成分の情報提供」への団体状況（N=180）

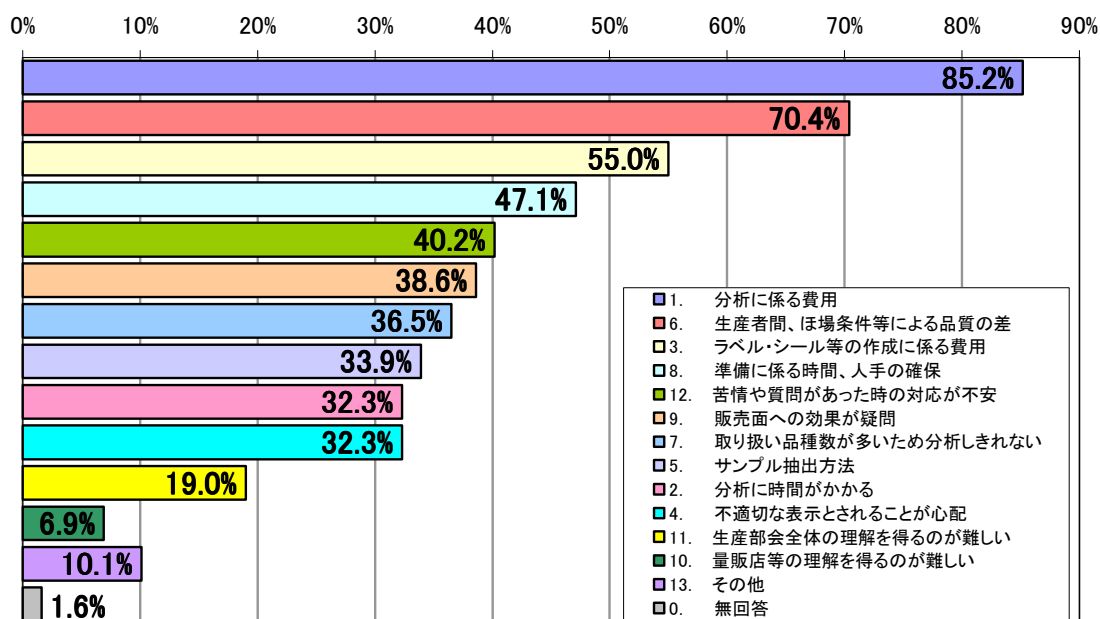


④今後の栄養成分情報提供に取り組む上での問題点と課題（問5）

今後、「野菜・果実の栄養成分の情報提供」の取組を進める上で、どのような問題点と課題があるのかについての調査結果は、以下のとおりである。

- ア. 「分析にかかる費用」（85.2%）、「ラベル・シール等の作成に係る費用」（55.0%）などの取り組む上での経費がかさむことを問題・課題としている。
- イ. 次に、「分析に時間がかかる」（32.3%）、「取り扱い品種数が多いため分析しきれない」（36.5%）、「準備等にかかる時間、人手の確保」（47.1%）などの人手と作業時間を多く要することである。
- ウ. さらに、「生産者間、ほ場条件等による品質差」が見られることが予想されることから、栄養成分表示の情報と実際に販売する野菜・果実の個々の成分と異なることへ不安視しているものと考えられる。

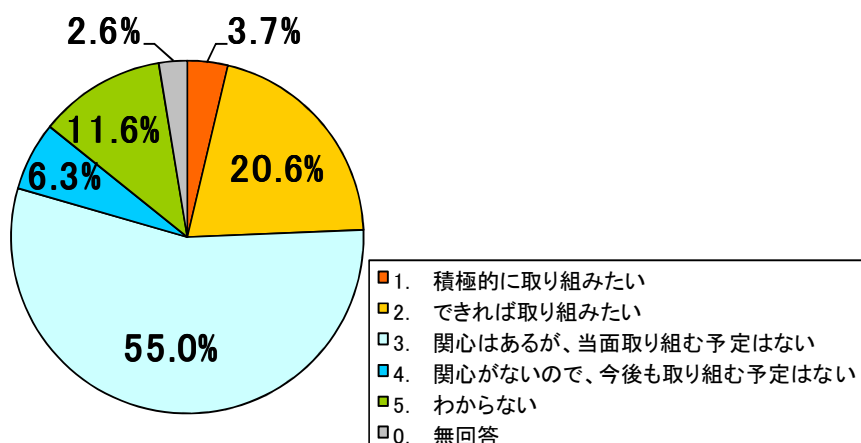
問5 「野菜・果物の栄養成分の情報提供」を取組む際の問題点・課題 (N=189)



⑤栄養成分等自主表示ガイドライン策定についての考え方 (問6)

栄養成分等自主表示ガイドライン策定した場合に、今後の取組の考え方について調査結果では、「積極的に取り組みたい」(3.7%)と「できれば取り組みたい」(20.6%)を合わせた取り組み考えのある農協は24.3%であった。一方、「関心がないので、今後も取り組む予定はない」は6.3%に過ぎず、「関心はあるが、当面は取り組む予定がない」とする農協が55.0%と過半数みられ、こうした農協に対して情報提供についての普及・啓蒙活動を積極的に働きかけていくことが重要と考えられる。

問6 「栄養成分自主表示ガイドライン策定」の取組み意向 (N=189)



問1：現在、「野菜・果物の栄養成分の情報提供」の取組みについて、実施していますか。

[単一回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	189
1. 取り組んでいる	2.6%	5
2. 取り組んでいない	95.2%	180
3. 以前は取り組んでいたが、今は取り組んでいない	2.1%	4

問2：【問1で「1. 取り組んでいる」とお答えの方】取り組まれた手応えについて、該当するものすべてに○印をつけて下さい。 [複数回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	5
1. 野菜・果物の販売や食費の促進に貢献していると思う	60.0%	3
2. 野菜・果物の摂取について消費者や顧客に有用な情報として理解されていると思う	40.0%	2
3. 生産者団体や取引先における食生活・栄養に関わる啓発に役立っていると思う	20.0%	1
4. 販売先や新たな取引レートの開拓等の営業に役立っていると思う	20.0%	1
5. 野菜・果物の販売や食費を阻害していると思う	0.0%	0
6. 野菜・果物の摂取について消費者や取引先の理解を得るのが難しいと思う	0.0%	0
7. 取り組むことについて、生産者団体や取引先で理解があまり得られていないと思う	0.0%	0
8. 特によい手応えも悪い手応えも聞かれない	40.0%	2

問3-1-1-4：【問1で「1. 取り組んでいる」とお答えの方】産地側、仕入れ先の量販店或いは食品メーカー等、どこからの提案により取組みを始めることになりましたか。「取組み内容」 [複数回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	5
1. 告知販促物	40.0%	2
2. ラベル(シール)	60.0%	3
3. その他	0.0%	0

問3-1-1-5：【問1で「1. 取り組んでいる」とお答えの方】「提案先」 [複数回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	5
1. 産地から	80.0%	4
2. 量販店から	0.0%	0
3. 食品メーカー	0.0%	0
4. その他	20.0%	1

問3-1-2-4：【問1で「1. 取り組んでいる」とお答えの方】産地側、仕入れ先の量販店或いは食品メーカー等、どこからの提案により取組みを始めることになりましたか。「取組み内容」 [複数回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	5
1. 告知販促物	20.0%	1
2. ラベル(シール)	20.0%	1
3. その他	0.0%	0
0. 無回答	60.0%	3

問3-1-2-5：【問1で「1. 取り組んでいる」とお答えの方】「提案先」 [複数回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	5
1. 産地から	20.0%	1
2. 量販店から	0.0%	0
3. 食品メーカー	0.0%	0
4. その他	20.0%	1
0. 無回答	60.0%	3

問3-1-3-4：【問1で「1. 取り組んでいる」とお答えの方】産地側、仕入れ先の量販店或いは食品メーカー等、どこからの提案により取組みを始めることになりましたか。「取組み内容」 [複数回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	5
1. 告知販促物	20.0%	1
2. ラベル(シール)	0.0%	0
3. その他	0.0%	0
0. 無回答	80.0%	4

問3-1-3-5：【問1で「1. 取り組んでいる」とお答えの方】「提案先」 [複数回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	5
1. 産地から	20.0%	1
2. 量販店から	0.0%	0
3. 食品メーカー	0.0%	0
4. その他	0.0%	0
0. 無回答	80.0%	4

問4：【問1で「2. 取り組んでいない」とお答えの方】「野菜・果物の栄養成分の情報提供」の取組について、あなたの団体は、これまでどのようなお考えをお持ちでしたか。 [単一回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	180
1. 野菜・果物の栄養成分の情報提供を可能なことを知らなかった	20.0%	36
2. 知っているが、自分の団体・営業には関係がないと考えていた	7.2%	13
3. 自分の団体・営業に関係はあるが、積極的に取り組む理由がみあたらなかった	30.0%	54
4. 自分の団体・営業に関係があり、取り組みたいが、余裕がなかった	23.3%	42
5. 自分の団体・営業に関係があり、取り組みたいが、どう取り組んでよいか分からなかった	16.7%	30
0. 無回答	2.8%	5

問5：「野菜・果物の栄養成分の情報提供」の取組について、どのような問題点と、課題がありますか、また考えられますか。 [複数回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	189
1. 分析に係る費用	85.2%	161
2. 分析に時間がかかる	32.3%	61
3. ラベル・シール等の作成に係る費用	55.0%	104
4. 不適切な表示とされることが心配	32.3%	61
5. サンプル抽出方法	33.9%	64
6. 生産者間、ほ場条件等による品質の差	70.4%	133
7. 取り扱い品種数が多いため分析しきれない	36.5%	69
8. 整備等に係る時間、人手の確保	47.1%	89
9. 販売面への効果が疑問	38.6%	73
10. 量販店等の理解を得るのが難しい	6.9%	13
11. 生産部会全体の理解を得るのが難しい	19.0%	36
12. 苦情や質問があった時の対応が不安	40.2%	76
13. その他	10.1%	19
0. 無回答	1.6%	3

問6：今後の右記のような表示を店頭とするための栄養成分等自主表示ガイドライン策定をすすめております。栄養成分等自主表示ガイドラインを策定した場合、あなたの団体は今 [単一回答]

	比率	回答数
全 体	100.0%	189
1. 積極的に取り組みたい	3.7%	7
2. できれば取り組みたい	20.6%	39
3. 関心があるが、当面取り組む予定はない	55.0%	104
4. 関心がないので、今後も取り組む予定はない	6.3%	12
5. わからない	11.6%	22
0. 無回答	2.6%	5